

|     |                 |      |       |      |     |
|-----|-----------------|------|-------|------|-----|
| 科目  | 発達障害作業療法学       | 担当   | 林原 千夏 | 履修学年 | 2年  |
| 時間数 | 90分×時限×16回(週1回) | 履修区分 | 必修    | 単位数  | 2単位 |

**【授業目標・到達目標】**

発達障害における作業療法評価に必要な知識を習得する。対象疾患の障害像と作業療法士の役割を理解する。正常発達の知識の整理を行い、作業療法プログラムへの治療的応用について習得する。

**【履修注意】**

開講日が不定期なため日程を把握しておくこと。

担当講師は、オムニバスで行う。

**【評価方法】**

出席、レポート、試験

**【試験について】**

実施する

再試験対象者の条件： 出席、レポート、定期試験結果が6割に満たない学生を対象とする。

**【予習・復習】**

学修時間は1単位45分が文部科学省指針です。1単位科目は90分の講義に対して45分、2単位科目は90分の講義に対して90分の自宅学習(予習、復習)が必要です。

**【教科書】**

書籍名： 発達障害と作業療法(基礎編)

著者： 岩崎 清隆

出版社： 三輪書店

発達障害と作業療法(実践編)

岩崎清隆 と岸本光夫

**【参考書】**

**【その他の注意事項】**

**【授業計画・内容】**

| 回数 | 項目               | 内容                   |
|----|------------------|----------------------|
| 1  | オリエンテーション 飯塚     | 発達障害作業療法について         |
| 2  | 正常発達に対する知識に整理 飯塚 | 正常発達に対する知識に整理        |
| 3  | 評価体験             | 評価体験                 |
| 4  | 評価体験             | 評価体験                 |
| 5  | 発達障害の現状と課題 坂井    | 大人の発達障害を含めて          |
| 6  | 障害像と作業療法の役割 飯塚   | ダウン症・精神発達遅滞          |
| 7  | 障害像と作業療法の役割 飯塚   | 自閉症スペクトラム・学習障害・ADHD等 |
| 8  | 発達障害の臨床 藪本       | 発達障害の臨床              |
| 9  | 発達障害の臨床 藪本       | 発達障害の臨床              |
| 10 | 障害像と作業療法の役割 飯塚   | 脳性麻痺・二分脊椎等           |
| 11 | 障害像と作業療法の役割 飯塚   | 進行性疾患 その他            |
| 12 | 障害像と作業療法の役割 藤田   | 脳性麻痺・痙直型             |
| 13 | 障害像と作業療法の役割 藤田   | 脳性麻痺・アトーゼ型           |
| 14 | 基礎となる手段 飯塚       | 遊びについて体験・考察          |
| 15 | 基礎となる手段 飯塚       | 遊びの発達・種類や遊具について      |
| 16 | 期末試験             | 15コマの復習・確認・総まとめ      |